

記入例（参考）

自動入力（自動計算、自動反映）
 事業所入力部分
 事業所プルダウン選択部分

参考様式

工賃（賃金）向上計画シート

提出日を記入（平成28年、平成29年は県からの通知を待って提出）

提出日 平成 27 年 8 月 1 日 平成 28 年 月 日 平成 29 年 月 日
 計画見直し日 平成 年 月 日

「ファイル保存名」のシートから自事業所の番号を確認し、プルダウン選択

事業所での見直し日を記入。必要に応じ適宜記入。最低限年度内に1回。

1、事業所概要及び理念・運営方針、具体的推進体制
 ファイル保存名 選択してください 指定年月日 平成 25 年 4 月 1 日

事業所で配置している常勤換算人数。※頭数ではない。

管理者の指示を受け、主に利用者の個別支援計画を立案する総合支援法上の資格・研修を修了した職員。

運営法人名 社会福祉法人◆□
 事業所名 ○▲×福祉事業所
 事業種別 就労継続支援B型 常勤換算数 7.5
 運営法人代表者名 日本 太郎 事業所管理者名 千葉 一郎
 サービス管理責任者名 房総 次郎 担当者名 千葉 一郎

平成27年度6月1日現在の情報をご記入ください。

法人独自の役職及び責任者ではなく、障害者総合支援法上の責任を有する管理者。

利用契約を結んでいる利用者の数。

利用者定員 30 人 登録者数 35 人 利用者の主な障害種別 身体・知的・精神・複病 前年度の平均利用者数(日) 27.5 人

県からの質問等に対し窓口となる方。事業所に配置されている職員。

事業所職員の頭数。

事業所全体の職員数 8 人 そのうち就労支援事業会計に人件費を計上している職員数 0 人
 〒 260 - 0001 住所 千葉市○区△△町12-34
 電話番号 043-000-000 FAX番号 043-000-000
 E-mail abcd@kouzyou.ne.jp

前年度の1日あたりの延べ利用者数÷前年度の開所日数
 平成27年4月1日以降に新設の事業所は、定員の80%を前年度平均利用者数とみなす。
 (例) 定員20人の場合、18人

事業所を利用している利用者の主な障害種別。

○▲×福祉事業所 が支払いたい、
 1人あたりの平均理想月給(工賃、賃金) 50,000 円 ※年金や生活保護費は除く

事業所の想い、自分の事業所に通う利用者にはこれだけ月に支払いたいという平均希望数値。

法人及び事業所の理念・運営方針
 社会福祉法人◆□では障害を持つ全ての方に、その人らしく暮らしていただくためのサポートをすることを目的としています。そのために、利用者の希望を十分に尊重し、可能な限り実現することを目指します。特に当法人の就労分野の方針は、働いて収入を得る喜びは、障害のある人も無い人も人としての尊厳に関わるものと考え、社会参加や自立した生活をおくる上で、極めて重要な意義を持っていると考えています。

【一般的な注意事項】
 例えば生活介護とB型の多機能型事業所の場合、当該計画シートに記入する全てのものはB型に限定した物になります(生活介護は対象外)。例えば、多機能型事業所の定員が50人で内訳が生活介護20人・B型が30人の場合、当該計画シートに記入する定員は30人。他、職員数や作業の売上・経費も含め、全てB型部分のみを記入すること。また、A型とB型の多機能型事業所は、A型の計画シートが1つ、B型の計画シートが1つとなります。一方、主たる事業所がB型事業所(もしくはA型事業所)で従たる事業所がある場合は計画シートは主と従を合わせて1つとなります。

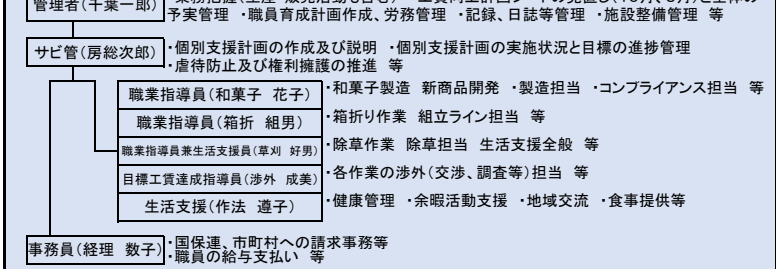
○▲×福祉事業所では以下の理念を掲げ、工賃と障害年金を合わせて地域で自立した生活を送れること、すなわち生活支援も含めて利用者を第1に考え「自立」「社会参加」「自己実現」を目指します。
 1. 利用者に働きがいのある人間らしい仕事を継続的に提供できる就労環境の整備を目指します。
 2. 利用者、家族、そして職員も含め、全ての関係者が満足できる利用者工賃(賃金)を目指します。
 3. 工賃(賃金)だけでなく、利用者に寄り添った利用者のかん生活支援を行うことを目指します。
 4. 利用者が地域と共に生きていくために、地域社会への貢献を目指します。

以上、1.～4.を実現するため、利用者に対しアセスメントを丁寧に行い(どれぐらいの工賃(賃金)を希望しているのか、どのような作業がしたいのか、何時間働きたいのか、価値観の何を大切にしているのか)そのための現状の課題・生活上の課題を把握し、個別支援計画を策定します。個々の利用者の希望をベースに事業所の強みを活かし、全体の事業計画を作成することとしています。

3年後の事業所のありたい姿
 利用者の「自立」「社会参加」「自己実現」に向けて、3年後は工賃(賃金)月額20,000円に必ずする。そのため、利用者(事業所)ができることを官公庁・企業・県民等に提案するだけでなく、官公庁・企業・県民等が求めていることを、どのように利用者の「自立」「社会参加」「自己実現」と結びつけ、さらに事業所の強みを踏まえて、地域が必要とする就労継続支援事業所になってほしい。

- ①菓子部門のメニュー拡充と経費の削減を行い、事業所内で販売することにとどまらず、新たな販路を拡大する。
- ②箱の組み立ての営業を通して、地元企業に箱折りができることを浸透させる。仕事の確保も重要だが、可能な限り安請負はせず、より単価の高い(最低限単価6円以上)内職仕事を獲得する。単なる下請けではなく、企業から真に必要とされるパートナーを目指す。
- ③年2回スポットで行っていた役所の除草作業の経験を活かし、役所から以前引き合いがあったが体制が整わず断っていた未利用地の広大な除草を請負う。
- ④作業速度にとらわれず、じっくり作業をしたい方のために、平成28年度に解体部門(水道メーター)を立ち上げる。
- ⑤近隣地域の行事(敬老会、夏祭りなど)に、今までは販売で参加するだけであったが、準備の手伝いから協力し、地域住民との交流する機会を増やす。
- ⑥利用者の年2回の日帰り旅行を、1回は1泊2日で行けるように目指す。
- ⑦利用者だけでなく職員も目標ややりがいがあるよう、賞与の20%UPを実現させる。

平成27年度の工賃(賃金)向上計画の推進体制(管理者及び運営体制図)※各作業に担当者がいる場合は明記すること



※サービス向上委員会(担当:作法 遵子) 第2火曜日17時～
 ※販売営業会議(作業担当持ち回り) 第1火曜日17時～
 ※虐待防止・権利擁護委員会(担当:サブ管) 第3火曜日17時～
 ※全体会議(非常勤含む)(担当:管理者) 第4水曜日16時～

ーセルは結合されています。改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

※報酬算定上必要となる基準を超えて配置して、利用者工賃の向上に寄与するために専ら就労支援事業に従事する直接処遇職員人件費等(当該人件費を就労支援事業会計に計上することで、利用者工賃が向上する場合のみ計上可)
 (例) 定員20名のB型事業所で、人員配置区分6:1、前年度利用者平均が18人、職員が生活支援員A(週平均40時間)、職業指導員B(週平均40時間)、職業指導員C(週平均20時間)、目標工賃達成指導員D(週平均40時間)の場合、本来福祉事業会計に全て職員人件費を計上するが、職員合計常勤換算3.5のうち、上記条件に合致する場合のみ、常勤換算0.5のみ計上可。

ーセルは結合されています。改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

ーセルは結合されていません。行の追加は行わず、文字フォントや結合、図形を用いてください。

2-1、各作業の現状と目標の設定	
作業名 和菓子の製造販売(主にどら焼き・たい焼き・大判焼き)	作業の内容・特徴 3障害全ての利用者がその特性や価値観に応じ、製造・販売・企画・営業など多岐にわたる作業に携われる。
作業担当職員名 和菓子 花子	作業部門(中分類) (物品)食料品・飲料

自動入力(自動計算、自動反映)

事業所入力部分

事業所プルダウン選択部分

←行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。
←選択する際は、別シートの「作業部門」を参照してください。

和菓子の製造販売(主にどら焼き・たい焼き・大判焼き)の現状及び今年度計画

平成26年度実績		今年度(平成27年度)目標		H26比
① 年間売上	7,000,000円	① 年間売上	9,000,000円	128.6%
仕入・原材料費(売上原価)	4,000,000円 57.1%	仕入・原材料費(売上原価)	4,750,000円 52.8%	118.8%
水光熱費	700,000円 10.0%	水光熱費	800,000円 8.9%	114.3%
外注費	0円 0.0%	外注費	0円 0.0%	#DIV/0!
利用者法定福利費(A型のみ)	0円 0.0%	利用者法定福利費(A型のみ)	0円 0.0%	#DIV/0!
就労支援事業会計に計上している人件費	0円 0.0%	就労支援事業会計に計上している人件費	0円 0.0%	#DIV/0!
減価償却費	200,000円 2.9%	減価償却費	100,000円 1.1%	50.0%
その他経費	100,000円 1.4%	その他経費	150,000円 1.7%	150.0%
② 経費計(経費率)	5,000,000円 71.4%	② 経費計(経費率)	5,800,000円 64.4%	116.0%
③ 利益(①-②)	2,000,000円 28.6%	③ 利益(①-②)	3,200,000円 35.6%	160.0%

作業名に書いた作業の年間合計売上額

当該年度の売り上げに係った原材料費等(商品・材料・仕掛品の棚卸後)

就労支援事業に係る部分のみ

←水色部分に数字のみを入力してください(円は自動表示)。
平成28年度もしくは29年度からの新規作業の場合は、平成26年度実績、平成27年度目標を記入する必要はありません。

1.計画シート(概要ページ)参照

就労支援事業に係る設備でかつ就労支援事業活動経費で取得した物(就労支援事業資産)

(例)通信運搬費、印刷費等

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間売上高	7,000,000円	9,000,000円	9,500,000円	10,000,000円
経費計	5,000,000円	5,800,000円	5,225,000円	5,000,000円
経費率	71.4%	64.4%	55.0%	50.0%
利益	2,000,000円	3,200,000円	4,275,000円	5,000,000円

←水色部分に数字のみ入力してください(円や%は自動表示)。
平成27年度で作業を廃止する場合は、目標を記入する必要はありません。

作業名は作業部門シートの参考例を参照し、【事業所として】どのような作業を行っているのか、第3者が見て伝わりやすい表現で自由に記入ください。

今年度(平成27年度)目標年間売上 9,000,000円 や利益 3,200,000円 を達成するための具体的行動計画

【①現状の課題 ②方針 ③具体的行動計画 ④その他】

スケジュールも含めて具体的に(なぜ、誰が、何を、いつまで、どこで、どのように等)計画として落とし込む

<①現状の課題>

現状、事業所創設時に開始したあずき館のどら焼きとたい焼きと大判焼きだけであるが、ここ数年売上が500百万円前後で頭打ちとなっている。また、昨今の原材料費の高騰により経費率が平成24年度の50%から平成26年度は約70%まで上昇している。1個100円~150円で販売しているが、これ以上価格を上げると客足が離れる懸念がある。

<②方針>

そのため、まず販路拡大を目指し、新たに白あんどら焼き及び生クリームどら焼きを製造する。平成28年度以降は経費についても改善し、利益の向上を図る。

<③具体的行動計画>

涉外成美が行う市場調査を基に、担当の和菓子花子がレシピを開発し、9月までに試作品を完成させ、10月には事業所で販売できるようにする。さらに1月からは市役所の売店で取り扱ってもらえるよう、管理者千葉一郎自らが市の担当部局に営業を行う。また、使用する材料及び食品表示については和菓子花子が管理者千葉一郎のフォローのもと、9月までに完了させる。

←セルは結合されています。改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

どら焼きたい焼きと大判焼きの場合など、事業所の作業部門として1つとして捉えられる場合集約してください。
(例)内職として、A社の箱折りとB社の箱折り、C社ボールペンの組み立ての場合、内職として【各作業の現状と目標の設定】は3ページでなく、1ページにまとめる。作業部門(中分類)は【(役務)その他のサービス・役務】を選択。逆に、中分類は【(役務)その他のサービス・役務】になるが、封入とポストインでは作業部門として異なると事業所が判断すれば、【各作業の現状と目標の設定】は2ページに分ける。臨機応変に対応をお願いします。

和菓子の製造販売(主にどら焼き・たい焼き・大判焼き)の平成27年度以降の将来性 継続(拡大方向)

平成28年度目標年間売上 9,500,000円 や利益 4,275,000円 を達成するための方策

<方策>

現状品質の良いA社からの仕入れに頼っているが、同等の品質で価格の低減が図られるよう、A社のライバルB社と相見積りを行い、和菓子花子を中心に新たな仕入れ先の開拓を進める。

←平成27年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

平成29年度目標年間売上 10,000,000円 や利益 5,000,000円 を達成するための方策

<方策>

市役所の販売だけでなく、移動販売も実施し売上UPを図る。経費については平成24年度の50%にまで落とし、売上だけに頼らない収益の改善を図り、利用者工賃UPを図る。

←平成28年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

2-2、各作業の現状と目標の設定	
作業名	作業の内容・特徴
箱折り	障害が重い方であっても、職員の工夫や努力で仕事に取り組める。
作業担当職員名 箱折 組男	作業部門(中分類) (役務)その他のサービス・役務

自動入力(自動計算、自動反映)

事業所入力部分

事業所プルダウン選択部分

←行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

←選択する際は、別シートの「作業部門」を参照してください。

箱折りの現状及び今年度計画					
平成26年度実績			今年度(平成27年度)目標		
① 年間売上	売上金額	売上に占める割合	① 年間売上	売上金額	H26比
仕入・原材料費(売上原価)	50,000円	4.8%	仕入・原材料費(売上原価)	75,000円	150.0%
水光熱費	0円	0.0%	水光熱費	0円	#DIV/0!
外注費	0円	0.0%	外注費	0円	#DIV/0!
利用者法定福利費(A型のみ)	0円	0.0%	利用者法定福利費(A型のみ)	0円	#DIV/0!
就労支援事業会計に計上している人件費	0円	0.0%	就労支援事業会計に計上している人件費	0円	#DIV/0!
減価償却費	0円	0.0%	減価償却費	0円	#DIV/0!
その他経費	0円	0.0%	その他経費	0円	#DIV/0!
② 経費計(経費率)	50,000円	4.8%	② 経費計(経費率)	75,000円	150.0%
③ 利益(①-②)	1,000,000円	95.2%	③ 利益(①-②)	1,500,000円	150.0%

←水色部分に数字のみを入力してください(円は自動表示)。
平成28年度もしくは29年度からの新規作業の場合は、平成26年度実績、平成27年度目標を記入する必要はありません。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間売上高	1,050,000円	1,575,000円	1,700,000円	1,800,000円
経費計	50,000円	75,000円	81,600円	86,400円
経費率	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%
利益	1,000,000円	1,500,000円	1,618,400円	1,713,600円

←水色部分に数字のみ入力してください(円や％は自動表示)。
平成27年度で作業を廃止する場合は、目標を記入する必要はありません。

今年度(平成27年度)目標年間売上 1,575,000円 や利益 1,500,000円 を達成するための具体的行動計画

【①現状の課題 ②方針 ③具体的行動計画 ④その他】

スケジュールも含めて具体的に(なぜ、誰が、何を、いつまで、どこで、どのように等)計画として落とし込む

<①現状の課題>

担当の箱折組男が工程を工夫したり、専用の治具を用意することで重度の方でも携われる仕事なので、継続して行ってきた。しかし、単価が2円と非常に安く、利用者の工賃には反映させづらい。また、納期に間に合わない場合も多く、その度に職員が残業をし、職員のモチベーションや福祉事業会計を圧迫する要因となっている。

<②方針>

箱折りで長年培ってきた特長は「丁寧さ」である。職員と利用者が一つずつ丁寧に行うことで長年仕事を頂戴してきた。この強みを活かし、発注企業A社に対し、より単価の良い仕事を発注いただけるよう営業活動をする。目標は作業時間を20%短縮し、かつ、単価3円30銭から5円の新しい内職仕事を獲得する。

<③具体的行動計画>

目標工賃達成指導員の渉外成美が、発注企業A社の幹部から昨年仕入れた「A社の下請け企業B社(○▲×事業所のライバル)に既にお願いしている作業の困りごと」の情報を活かす。箱折りに代わる新たな作業のサンプル獲得と同時に、A社の「困りごと」を解決するため、B社の情報(作業量、価格、品質)を仕入れることを8月までに行う。その後、箱折組男が発注企業A社にとってB社に発注するより良い条件でできる体制を構築する。その結果を渉外成美が発注企業A社に対し、事業所見学を開催するなどPRを行う。1個当たりの作業時間はB社と同等を目指す。強みである「丁寧さ」でB社より不良品を出さないことをPRとする。そのために職員一丸となり、誰がシフトに入っても間違いのない「作業手順・検品マニュアル」を作成し、10月には受注を目指す。

←セルは結合されています。
改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

箱折りの平成27年度以降の将来性					
継続(拡大方向)					
平成28年度目標年間売上	1,700,000円	や利益	1,618,400円	を達成するための方策	
更なる生産性を上げるため、1個当たりの箱折り組立時間を、平成27年度比10%減を目指す。					
平成29年度目標年間売上	1,800,000円	や利益	1,713,600円	を達成するための方策	
更なる生産性を上げるため、1個当たりの箱折り組立時間を、平成27年度比15%減を目指す。					

←平成27年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

←平成28年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

2-3、各作業の現状と目標の設定	
作業名	作業の内容・特徴
水道メーターの解体	作業スピードが求められる箱折りに携われないが、じっくり丁寧に仕事できる方に適している。
作業担当職員名 渉外 成美・房総次郎	作業部門(中分類) (役務)その他のサービス・役務

自動入力(自動計算、自動反映)

事業所入力部分

事業所プルダウン選択部分

←行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

←選択する際は、別シートの「作業部門」を参照してください。

水道メーターの解体 の					
現状及び今年度計画					
平成26年度実績		売上に占める割合	今年度(平成27年度)目標		H26比
① 年間売上			① 年間売上		
仕入・原材料費(売上原価)		#DIV/0!	仕入・原材料費(売上原価)	#DIV/0!	#DIV/0!
水光熱費		#DIV/0!	水光熱費	#DIV/0!	#DIV/0!
外注費		#DIV/0!	外注費	#DIV/0!	#DIV/0!
利用者法定福利費(A型のみ)		#DIV/0!	利用者法定福利費(A型のみ)	#DIV/0!	#DIV/0!
就労支援事業会計に計上している人件費		#DIV/0!	就労支援事業会計に計上している人件費	#DIV/0!	#DIV/0!
減価償却費		#DIV/0!	減価償却費	#DIV/0!	#DIV/0!
その他経費		#DIV/0!	その他経費	#DIV/0!	#DIV/0!
② 経費 計(経費率)	0円	#DIV/0!	② 経費 計(経費率)	0円	#DIV/0!
③ 利益(①-②)	0円	#DIV/0!	③ 利益(①-②)	0円	#DIV/0!

←水色部分に数字のみを入力してください(円は自動表示)。

平成28年度もしくは29年度からの新規作業の場合は、平成26年度実績、平成27年度目標を記入する必要はありません。

	平成26年度	平成27年度		平成28年度	平成29年度
年間売上高	0円	0円	目標年間売上高	100,000円	200,000円
経費 計	0円	0円	経費 計	10,000円	20,000円
経費率	#DIV/0!	#DIV/0!	目標経費率	10.0%	10.0%
利益	0円	0円	利益	90,000円	180,000円

←水色部分に数字のみを入力してください(円や%は自動表示)。

平成27年度で作業を廃止する場合は、目標を記入する必要はありません。

今年度(平成27年度)目標年間売上 0円 や利益 0円 を達成するための具体的な行動計画

【①現状の課題 ②方針 ③具体的な行動計画 ④その他】

スケジュールも含めて具体的に(なぜ、誰が、何を、いつまで、どこで、どのように等)計画として落とし込む平成28年度から作業開始予定。

<①現状の課題>

じっくりと作業に取り組みたい利用者のために新たな作業を確立する。

<②方針>

和菓子製造のお得意様企業より、水道メーター解体の下請け作業の話をいただく。課題にもある通り、作業の波に乗れない方のために、納期がない解体作業は非常に適している。

<③具体的な行動計画>

平成28年度に開始のため、27年度の12月までに作業場の整備を行うとともに、解体マニュアルを作成し、誰もが効率よく取り掛かれるよう準備を行う。また、安請け合いはせずに、解体手順を元に適正な単価を提案する。

←セルは結合されていません。

改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

水道メーターの解体 の平成27年度以降の将来性				
新規				
平成28年度目標年間売上	100,000円	や利益	90,000円	を達成するための方策
企業からは年間1,000台程度と伺っているので、仮置きで単価100円で考え、上記の売り上げとした。単価交渉で価格が変更となれば、期の途中で計画を見直す。				
平成29年度目標年間売上	200,000円	や利益	180,000円	を達成するための方策
平成28年度に実績を積み、付加価値の高い解体を行うことで、単価アップを交渉する。また、行政の水道局や別の企業からも受注獲得を目指す。				

←平成27年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

←平成28年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

2-4、各作業の現状と目標の設定	
作業名	作業の内容・特徴
除草作業	近隣住民や優先調達法の中で行政側のニーズが高い。箱折りや和菓子製造に携われない方も取り組める。
作業担当職員名 草刈 好男	作業部門(中分類) (役務)清掃・施設管理

自動入力(自動計算、自動反映)

事業所入力部分

事業所プルダウン選択部分

←行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

←選択する際は、別シートの「作業部門」を参照してください。

除草作業 の現状及び今年度計画

平成26年度実績		売上に占める割合	今年度(平成27年度)目標		H26比
① 年間売上	200,000円		① 年間売上	400,000円	
仕入・原材料費(売上原価)	5,000円	2.5%	仕入・原材料費(売上原価)	10,000円	2.5%
水光熱費	0円	0.0%	水光熱費	0円	0.0%
外注費	20,000円	10.0%	外注費	40,000円	10.0%
利用者法定福利費(A型のみ)	0円	0.0%	利用者法定福利費(A型のみ)	0円	0.0%
就労支援事業会計に計上している人件費	0円	0.0%	就労支援事業会計に計上している人件費	0円	0.0%
減価償却費	0円	0.0%	減価償却費	0円	0.0%
その他経費	0円	0.0%	その他経費	0円	0.0%
② 経費 計(経費率)	25,000円	12.5%	② 経費 計(経費率)	50,000円	12.5%
③ 利益(①-②)	175,000円	87.5%	③ 利益(①-②)	350,000円	87.5%

←水色部分に数字のみを入力してください(円は自動表示)。
平成28年度もしくは29年度からの新規作業の場合は、平成26年度実績、平成27年度目標を記入する必要はありません。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間売上高	200,000円	400,000円	500,000円	1,000,000円
経費 計	25,000円	50,000円	57,500円	110,000円
経費率	12.5%	12.5%	11.5%	11.0%
利益	175,000円	350,000円	442,500円	890,000円

←水色部分に数字のみを入力してください(円や%は自動表示)。
平成27年度で作業を廃止する場合は、目標を記入する必要はありません。

今年度(平成27年度)目標年間売上 **400,000円** や利益 **350,000円** を達成するための具体的行動計画

【①現状の課題 ②方針 ③具体的行動計画 ④その他】

スケジュールも含めて具体的に(なぜ、誰が、何を、いつまで、どこで、どのように等)計画として落とし込む

<①現状の課題>
箱折りや和菓子製造に携われない利用者と共に主に近隣住民の方をターゲットに除草を行ってきた。請負班として便利屋作業も行っており、便利屋の受注件数が伸び悩んでいた。そのため、便利屋作業の売り上げアップのために近隣だけでなく市街地まで営業のために利用者と共にチラシのポスティングを行っていたが、そのことが原因で行政側の除草作業を断ることがあり、うまく作業として回っていなかった。

<②方針>
上記の課題を踏まえ、今年度より便利屋をやめ、近隣住民や行政からの除草作業1本に絞ることとした。

<③具体的行動計画>
まずは、管理者が行政に対して今年度の作業方針を伝えるために市の障害福祉課に挨拶に行く(4月中→実施済み)。また、今までは市の環境整備課から障害福祉課に除草の連絡が行っていたとことであったが、直接環境整備課へ営業に行き、今までより多く受注できるこちらの体制説明を行う(5月中→実施済み)。環境整備課の発注者は元障害福祉課の方で優先調達法の事を知っていたが、まだまだ他の課では優先調達法の存在を知らないとのことなので、除草作業が発注できそうな課へ営業に行く(6月中)。
担当者の草刈好男は、外注費である除草した草の処理を行う産廃業者へ価格の交渉を行う。そのために自分たちの事業所の特徴や今年度から作業方針を変更したことで、今までのように小口での処理費用ではなく、まとめて処理をすることでキロあたりの単価を下げてもらう(6月中)。同時にポータルサイト「チャレンジインフォキ業」に便利屋として登録していた文面を変更し、除草に特化した内容に記述を変更する(6月中)。

←セルは結合されていません。
改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

除草作業 の平成27年度以降の将来性

継続(拡大方向)

平成28年度目標年間売上	500,000円	や利益	442,500円	を達成するための方策
除草した草の処理費用の単価を下げることで、経費を1%下げる。同時に今まで断っていた行政の発注を多く受け、売り上げアップを目指す。				

←平成27年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

平成29年度目標年間売上	1,000,000円	や利益	890,000円	を達成するための方策
平成28年度に行政の発注を受けることで実績を重ね、未利用地の除草作業を獲得し、更なる売り上げアップを目指す。				

←平成28年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

2-5、各作業の現状と目標の設定	
作業名 便利屋(洗車作業や引っ越し)	作業の内容・特徴 地域住民のニーズが高い。箱折りや和菓子製造に携われない方も取り組める。
作業担当職員名 草刈 好男	作業部門(中分類) (役務)その他のサービス・役務

自動入力(自動計算、自動反映)

事業所入力部分

事業所プルダウン選択部分

←行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

←選択する際は、別シートの「作業部門」を参照してください。

便利屋(洗車作業や引っ越し) の

現状及び今年度計画

平成26年度実績			今年度(平成27年度)目標			H26比
① 年間売上	100,000円	売上に占める割合	① 年間売上	50,000円	売上に占める割合	50.0%
仕入・原材料費(売上原価)	10,000円	10.0%	仕入・原材料費(売上原価)	5,000円	10.0%	50.0%
水光熱費	10,000円	10.0%	水光熱費	5,000円	10.0%	50.0%
外注費	0円	0.0%	外注費	0円	0.0%	#DIV/0!
利用者法定福利費(A型のみ)	0円	0.0%	利用者法定福利費(A型のみ)	0円	0.0%	#DIV/0!
就労支援事業会計に計上している人件費	0円	0.0%	就労支援事業会計に計上している人件費	0円	0.0%	#DIV/0!
減価償却費	0円	0.0%	減価償却費	0円	0.0%	#DIV/0!
その他経費	0円	0.0%	その他経費	0円	0.0%	#DIV/0!
② 経費計(経費率)	20,000円	20.0%	② 経費計(経費率)	10,000円	20.0%	50.0%
③ 利益(①-②)	80,000円	80.0%	③ 利益(①-②)	40,000円	80.0%	50.0%

←水色部分に数字のみを入力してください(円は自動表示)。

平成28年度もしくは29年度からの新規作業の場合は、平成26年度実績、平成27年度目標を記入する必要はありません。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間売上高	100,000円	50,000円	0円	0円
経費計	20,000円	10,000円	0円	0円
経費率	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
利益	80,000円	40,000円	0円	0円

←水色部分に数字のみを入力してください(円や％は自動表示)。
平成27年度で作業を廃止する場合は、目標を記入する必要はありません。

今年度(平成27年度)目標年間売上 50,000円 や利益 40,000円 を達成するための具体的行動計画

【①現状の課題 ②方針 ③具体的行動計画 ④その他】

スケジュールも含めて具体的に(なぜ、誰が、何を、いつまで、どこで、どのように等)計画として落とし込む
<①現状の課題>

近隣住民の方も会社を退職された方が増えてきており、受注が減少し、更に売上単価も低いことと、上記の2-4、除草作業に絞ったのを機に、平成27年10月を目途に便利屋作業は廃止とする。

←セルは結合されています。
改行(段落分け)を行う場合は、キーボードの【Alt】キーを押しながら、【Enter】キーを押してください。行の追加は行わず、文字フォントで調整してください。

便利屋(洗車作業や引っ越し) の平成27年度以降の将来性

廃止

平成28年度目標年間売上	0円	や利益	0円	を達成するための方策
平成29年度目標年間売上	0円	や利益	0円	を達成するための方策

←平成27年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

←平成28年度で作業を廃止する場合は、記入する必要はありません。

エクセル上は、2-8までページがあります。多くても8枚に収まるよう、記入願います。また、全ての1. 計画シート(概要ページ)、2. 計画シート(作業ページ)、3. 計画シート(まとめ)ページにおいて自動計算していますので、エクセルのシート複製、行・列の追加、幅の拡張等は行わないようお願いします。

3、事業所の現状と目標の設定

目標工賃(賃金)の設定 **月額** ←プルダウンにて、「月額」、「時間額」のいずれかを選択

自動入力(自動計算、自動反映)
事業所入力部分
事業所プルダウン選択部分

	実績			目標							
	平成26年度	売上に占める割合	平成27年度	売上に占める割合	平成26比	平成28年度	売上に占める割合	平成26比	平成29年度	売上に占める割合	平成26比
年間売上(全作業種)	#REF!		#REF!		#REF!	#REF!		#REF!	#REF!		#REF!
経費(全作業種)	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!
利益(全作業種)	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!
工賃(賃金)変動積立金	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#DIV/0!	#REF!	#REF!	#DIV/0!	#REF!	#REF!	#DIV/0!
設備等整備積立金	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#DIV/0!	#REF!	#REF!	#DIV/0!	#REF!	#REF!	#DIV/0!
工賃(賃金)支払可能額	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!
工賃(賃金)支払総額	3,255,000円		5,090,000円		156%	6,425,900円		197%	7,783,600円		239%
差額	#REF!		#REF!			#REF!			#REF!		

仮に平成26年度に訓練等給付費など他会計からの補填をしていた場合(マイナス表示)、平成27年度以降補填は0円にするよう計画の策定をお願いします。制度上、就労支援事業会計の利益のみで利用者の工賃(賃金)を支払うこととされています。逆に、仮に平成26年度に余剰金=繰越金がある場合(プラス表示)、制度上就労支援事業会計の利益は当該年度に全て利用者に還元することとなります。平成27年度以降は必ず適切な会計処理を行ってください。

←水色部分に数字のみ入力してください(円は自動表示)。

各月の工賃(賃金)支払対象者の総数*1	380人	383人		382人		381人	
平均工賃(賃金)月額	8,566円	13,290円		16,822円		20,429円	

←水色部分に数字のみ入力してください(人は自動表示)。

←この列の数字が、今回の工賃向上計画の目標になります。

各日の各時間毎の支払対象者の総数*2	36,300人	36,350人		36,350人		36,350人	
平均工賃(賃金)時間額	90円	140円		177円		214円	

←水色部分に数字のみ入力してください(人は自動表示)。

←この列の数字が、今回の工賃向上計画の目標になります。

※各事業年度における積立額は就労支援事業収入の10%以内、積立額の上限は就労支援事業資産の取得価格の75%以内

※各事業年度における積立額は過去3年間の平均工賃の10%以内、積立総額の上限は過去3年間の平均工賃の50%以内

管理者が中心となり、当該工賃向上計画を事業所の全職員で共有しましたか **共有した**

当該計画を記入をした1個人の独断ではなく、管理者が中心となり、必ず現場職員の意見を把握し、管理者の強いリーダーシップのもと事業所全職員で当該計画を共有してください。

上記、目標工賃(賃金)の設定プルダウン選択にて「月額を選択していても時間額の額を」「時間額を選択していても月額を」それぞれ把握し、管理する必要があるため、水色部分に両方入力願います。支払対象者の総数については※の例を参考にしてください。

*1. :1年間の各月に工賃(賃金)の支払対象者の延人数
【例】定員20人の事業所で、4月 18人、5月 20人、6月 19人、7月 19人、8月 20人、9月 20人、10月 20人、11月 19人、12月 19人、1月 19人、2月 19人、3月 19人だった場合、1年間の総延人数は、231人となります。(上記の表で平成26年度では380人となっています。)

*2.
【例】1年のうちに、4月1日、4月5日、5月9日、10月21日労働分に工賃(賃金)を支払った場合。(極端な例です。)
4月1日 Aさん5時間・Bさん3時間・Cさん6時間、4月5日 Aさん4時間・Bさん5時間・Cさん4時間、5月9日 Aさん4時間・Bさん4時間・Cさん5時間、10月21日 Aさん5時間・Bさん5時間・Cさん5時間だった場合、1年間の総労働時間は55時間=55人となります。(上記の表で平成26年度では、人となっています)

作業部門 対象品目一覧(参考例)

項目	中分類	具体例
物品 (製造の請負含む)	(物品)事務用品・書籍	a.筆記具、b.事務用品、c.用紙、d.封筒、e.ゴム印、f.書籍
	(物品)印刷	a.ポスター、b.チラシ、c.報告書・冊子、d.名刺、e.スクリーン印刷、f.封筒などの印刷
	(物品)食料品・飲料	a.パン、b.弁当・おにぎり、c.麺類、d.加工食品、e.菓子類、f.飲料・コーヒー・茶、g.酒類、h.米、i.野菜、j.果物、k.養鶏、l.家畜、m.花卉類
	(物品)小物雑貨	a.衣類・身の回り品・装飾具・刺繍品、b.食器類・陶磁器・ガラス製品、c.絵画・工芸品、d.木工品・金物、e.おもちゃ・人形、f.楽器、g.石鹸、h.各種記念品、i.清掃用具・用品、j.紙すき製品
	(物品)その他の物品	a.机・テーブル、b.椅子、c.キャビネット、d.ロッカー、e.寝具、f.器物台、g.プランター、h.介護用品、i.トイレトペーパー、j.ビニール袋、k.点字ブロック、l.蛍光灯反射板
役務	(役務)クリーニング	a.クリーニング、b.リネンサプライ
	(役務)清掃・施設管理	a.清掃、b.除草作業、c.施設管理、d.駐車場管理、e.自動販売機管理、f.機器清掃
	(役務)情報処理・テープ起こし	a.ホームページ作成、b.プログラミング、c.データ入力・集計、d.テープ起こし
	(役務)飲食店等の運営	a.売店、b.レストラン、c.喫茶店
	(役務)その他のサービス・役務	a.仕分け・発送、b.袋詰・包装・梱包、c.洗浄、d.解体、e.箱物折り、f.おしぼり箱折り、g.筆耕、h.文書の破棄(シュレッター)、i.資源回収・分別、j.封入、k.ポストイング、l.縫製